介護の「みらい」よもやま話

対談 介護老人保健施設 フェルマータ船橋②

皆さま　こんにちは。先月号に続きまして、フェルマータ船橋事務長代理　塩原貴子さんに取材協力を頂きましたので、そこで聞かせていただいた現場の最前線をお伝えします。前回は介護老人保健施設とはどのようなものかを詳しくお聞かせ頂きましたが、今月号はご利用者様を支える介護老人保健施設自体が困っている事をお聞きしました。

フェルマータ船橋事務長代理 /塩原貴子さん（左）
介護屋 宮崎 代表取締役社長 /宮崎 直樹（右）

宮崎：率直にお聞きします。塩原さんが今一番困っている事ってどのようなことでしょうか。

塩原：なんといっても人材不足です。いまこの介護業界は本当に人手不足が深刻です。ここフェルマータ船橋でも常時、ハローワークやインターネット求人等を行っていますが厳しい状況です。

宮崎：本当に、この業界に人が来なくなりましたね。正規職員の有効求人倍率も１倍を超えたので、余計に介護業界に来て下さる方が減ったと自分も非常に感じています。

私自身が普段行っている在宅介護では、外国人労働者の方々に対してやはりご利用者様が壁を感じている事があり、「あんな外国人をヘルパーで派遣するな」というような苦情が、時折ですがケアマネジャーに来ることがあります。これは、自宅に外国人が来るというのはやはり抵抗を感じるご高齢の方が多いのが現状なんだと考えていますが、施設では人材不足解消のための外国人雇用はされないのですか。

塩原：実は、フェルマータ船橋ではベトナムからの研修を受け入れています。この研修生の方々は入居者さんに非常に評判がいいです。

勤勉で非常に優しくて心配りも出来る方が多いので、あっという間に入居者さんと仲良くなれます。きっと、ホームとアウェイの違いだと思います。自宅つまりホームに外国人が一人で来るのは色々と心配だけど、施設アウェイな環境でさらに日本人に交じっての外国人なので、警戒心が薄らぐのもあると思います。

宮崎：それでは、フェルマータ船橋では、外国人介護士も多く受け入れているのですか。

塩原：いえ。実は一人も受け入れが出来ていません。受け入れたくても外国人の方の採用に関しても様々な制度がありまだそこに着手できていない厳しい状態です。

宮崎：ＥＰＡ（経済連携協定）で積極的に介護人材を補う活動も行われてますが、現実には厳しい状況ということですか。

塩原：ＥＰＡでの受け入れは非常に困難に感じています。例えば、ベトナムの方がＥＰＡを利用して日本で介護職になる場合ですが、母国にてマッチングが行われ受入先の法人を決めてから来日します。つまり、私たち施設の人間がベトナムに何度も足を運び、人間関係を構築し理解して頂くように働きかけておりますがそれでも、需要（日本の法人側）と供給（ＥＰＡベトナム人）のバランスは逆転しており、採用につながるのは難しいと聞いています。

また、介護職は不足していますが、そこまで経費をかけることは非常に難しい法人もあると聞いています。

宮崎：介護離職ゼロをうたって介護による離職者が出ないように国も頑張っていますが、その介護現場が人手不足で疲弊している現状ですね。

塩原：今は、介護業界だけでなくて全ての産業で人手が足りない状態ですが、このままだと介護従事者も高齢化しているので、本当に困っています。

▲ベトナムから介護研修に来た皆さん。●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

【考察】介護の人材不足解消のために外国人労働者を受け入れることが始まりましたが、まだまだ問題がある事を初めて知りました。在宅介護と施設介護と介護に携わるすべての業界が人手不足であるので、このことについてはみなさんも自分事として考えて頂ければと思いました。みなさんの協力なくして船橋の街を支える事は難しい状態になっていると肌で感じています。

ケアマネ介護のお悩み相談会

現場で頑張るあなたのお悩みは？

仕事内容　勤務時間　給料　続けられる？　将来　どこまで関われば いいの？

年間1300人のケアマネに講演する宮崎代表がマンツーマンであなたの介護の悩みを聞きます！

講演実績「ストレスを貯めず、効率よく仕事する方法」～段取り８割、実行２割～

11/24（金）
10時～12時
会場 / 介護屋みらい（右記参照▶）
定員 /3人
相談会申込は
☎047-404-2660

居宅介護支援事業所
介護屋みらい
住 船橋市薬円台 4-16-4-202
☎ 047-404-2660